

会長の時間 ●富田会長

来る 11 月 16 日は地区から滝澤功治 PDG をお迎えして、中村副委員長による情報担当委員会を予定しています。滝澤 PDG はご周知の通り、2014-15 年度ガバナーを務められ地区の重鎮であるばかりか、2021-24 年度の「第三地域ロータリーコーディネーター」として RI レベルで現在も活躍されています。そこで、滝澤 PDG を招聘するに当たり、本日は RI の組織とガバナンスについての情報を会員の皆様と共有させて頂きたいと存じます。

RI は、基本的な組織単位であるロータリークラブの連合体であり、RI の組織管理単位として、「地区」、「ゾーン」、「地域」の 3 つがありますが、当クラブは、「第 2680 地区」、「第 3 ゾーン」、「第 3 地域」となっています。地区 (DISTRICT) は、地理的に線引きされた区域で、世界に 520 あり、その監理者であるガバナーは、任期が 1 年で RI の役員です。ゾーン (ZONE) は地区の集合体で、世界で 34 あり、会員数の均等に配慮した RI 理事の選挙区の様で、8 年毎に区割りの見直しがあります。地域 (REGION) は、同じく地区の集合体で世界に 40 あります。そして、各地区にコーディネーターまたはアドバイザーと称するリーダーが置かれ、地区とクラブをサポートしています。

RI のガバナンスについては、国際大会で選任された 19 人の RI 理事 (任期 2 年) がロータリー方針を決定する「理事会」と、規定審議会 (COL) と決議審議会 (COR) の 2 つからなる「立法機関」が役割分担しています。各クラブは、所属するゾーンを代表する理事を通して「理事会」に影響力を行使できます。規定審議会は 3 年毎に各地区の代議員が対面で集まって開催され、ロータリー組織規程の改正案 (制定案) を審議します。また決議審議会は毎年オンラインで開催され、組織規程の改正を伴わない方針提案 (決議案) を審議します。立法機関に参加するのは代議員ですが、立法の発議自体はすべての会員が可能です。立法の決定事項はすべての会員に影響が及ぶので常に関心を寄せることが肝要です。

「ロータリーの地域リーダー」は、5 人の様々なコーディネーターからなり、RI 会長やロータリー財団管理委員長によって任命され、任期は 3 年で、知識と職業的スキルを活かして、クラブと地区のサポートと強化、人道的奉仕、公共イメージの向上に努め、会員への情報提供やロータリー研究会、GETS、地域・ゾーンや地区の研修等の推進を任務としています。

また、39 の地域では、夫々理事と 5 人の地域リーダーからなるチームが編成されています。5 人の「地域リーダー」の一人の「ロータリーコーディネーター」は、会員の積極的参加と入会者の促進により、元気なクラブ作りと会員増強を支援することを役目としています。

滝澤 PDG は、縷々説明しました「第三地域ロータリーコーディネーター」を現在務められている他、弁護士のスキルを活かして 2020-23 年度に続き、2023-26 年度の審議会代表委員・世話人代表として活躍されています。

最後に、滝澤 PDG はガバナー当時、運営方針として「TRY SOMETHING NEW!」を掲げ、「ロータリーは単なる奉仕団体ではなく、常に人格を陶冶する姿勢」と唱えられました。また、「奉仕活動の根源にある考え方を学ぶ機会を地区の会員に提供したい」という言葉が地区の記念誌に残されていますが、これを紹介して本日の会長の時間を終わります。